

石田小安全パトロール推進協議会（山梨県）

山梨から参りました、石田小安全パトロール推進協議会の深沢でございます。長田でございます。どうぞよろしくお願いたします。



活動地域の紹介

山梨県の人口は、約 85 万人、世帯数は 32 万世帯です。日本列島のほぼ中央に位置し、面積は我が国総面積の約 100 分の1です。県土の約 78%を山林が占めている山林県です。私たちが活動する石田地区は、甲府市の南西部に位置する上石田、下石田、高畑地区のことを指します。この地区は人口約 9,000 人、世帯数約 4,000 世帯、人口、世帯数ともに甲府市全体の約5%を占めています。65 歳以上の人口構成比率が年々高くなり、15 歳以下の人口減少が顕著で、人口構成比のアンバランスな地域であり、改めて地域の安全・安心には高齢者のパワーが重要な時代なのだと感じる次第です。

私たちの地域では、昔は農業、特に米づくりが盛んな地域でした。その昔、明治天皇の即位に際し、大嘗祭をあげるに先立ち献上米がつくられた、県内唯一の齋田があった地域です。現在でも地元では当時の様子を「石田お俵連」という祭りで再現し、儀式を執り行ったり、山車で町中を練り歩いたりして、後世へその歴史を伝えています。

地域力、それはいま防犯、防災、事故防止を推進することが最も大切なテーマです。その絆のシンボルが、このお俵連です。

団体の発足経緯等

平成 14 年、全国的で犯罪が多発すると、当地区でも同様にひったくり等の犯罪が白昼堂々と発生し、さらには学校周辺不審者の出没、空き巣ねらいも多発しました。また、日本中を震撼させた大阪池田小の児童殺傷事件が発生。それを境に平成 15 年、当時の交通安全協会女性部の発議により「子どもの見守り活動」を行うこととなり、その数カ月後であります平成 16 年 11 月 1 日、交通安全協会石田支部 45 名により、警察本部、甲府警察署、自治会関係者、学校長等の見守る中で華々しく出発式を挙行了しました。

平成 17 年 5 月末日に、幾度かの関係者の会議を経て、石田小安全パトロール推進協議会は、いち早くボランティアに手を挙げていただいた老人クラブの有志、自治会関係者有志、保護者、教職員、警察関係者約 233 名と児童の対面式を兼ねた出発式を行いました。ボランティアの募集は各老人クラブまたは各自治会より推薦いただき、さらには交通安全協会支部

団体の発足

平成 15 年当時・・・
全国的に子どもが被害に遭う事件の多発
地元でも学校周辺での不審者出没・ひったくり
空き巣事件の多発

甲府交通安全協会石田支部
児童見守りパトロール出発式
(平成 16 年 11 月 1 日)
支部員 45 名 自治会長 県
警察本部、甲府署、PTA 総
勢 60 名

地元の子どもたちばかりでなく地域
住民の安全・安心な暮らしが脅か
される・・・

安全協会石田支部女性部が、
子どもの見守り活動を発議

平成 17 年 5 月
現在の推進会議が発足し活動の
活発化

活動当初の様子

員の合計 233 名でスタートしました。

活動における傷害等の補償については、私たちは活動に際して、事故やけがなどを負った場合に備え、甲府市の市民ボランティア活動保険に全員が加入し、会員が安心して活動できるようにしています。保険に加入すると固有の登録番号が打ち込まれている腕章が支給されるので、活動の際には、必ず腕章を着用することになっています。

団体の概要

- 団体名 石田小安全パトロール推進協議会
- 参加団体 自治会、老人クラブ、各町リーダー交通安全協会、PTA関係者、青少年育成会議、子供クラブ等
- 設立年月 平成17年5月30日 石田小運動場 出発式(児童対面式)
- 会員数 約350名
(スタート時233名)
- 支援 甲府市危機管理課
甲府署生活安全課
貢川交番



活動の概要

学校との協力関係につきましては、学校側でも発足当時から私たちの活動にご理解をいただき、児童の下校時間の連絡等、さまざまな面で協力をいただいております。例えば下校時間表の提供を受け、それを各町、リーダー、あるいは交通安全協会員に配布した上で毎日の当番表を作成して実行しています。



犯罪発生時間帯の編成とパトロールの時間割について、朝の登校見守り活動は、午前7時40分から8時10分までを児童の保護者が行い、下校時のパトロールは老人クラブなどのメンバーが午後2時30分から午後4時まで行います。活動を続けていくうちに、児童への声かけ事案やその他の発生にも変化があることに気がつきました。最近では、午後4時から午後8時くらいまでの時間帯に児童などへの声かけ事案の発生が多くなりました。

そこで、こうした時間帯での事案を防ぐため、青色防犯パトロールを行うことにし、春休み、夏休みは、夜間8時過ぎから午後11時ごろまで時間を延長して、夜間の神社や公園など少年が集まるような場所を中心にパトロールを行い非行防止にも力を入れています。

青色防犯パトロールについては、平成22年6月に開始しました。それぞれの自治会より青色防犯パトロール車両1台を目安に選出いただき、警察の講習後、車検証の書き換えを経て活動を行います。当初は、車両14台、同乗者を含めて実施者30名でスタートしました。出発式は自治会、警察、学校関係者等約40名が見守る中、初出動しました。パトロールは午後4時から8時の時間帯の中でランダムに、特に、不審者出没、ひったくりの発生場所、神社、公園、学校等を中心に約1時間パトロールをします。不審者情報等は、直ちに共有するようにしています。



リーダー研修会等

リーダー研修会を開始したのは、平成 17 年5月からですが、情報共有の場所として、2カ月に1度のペースで実施される組織の維持拡大の中核的役割をなすものです。この研修会の参加者は、毎回 60 名前後で、構成する団体の代表者、地域のリーダーのほか、関係機関として学校長、市担当者、警察担当者にご出席いただいています。関係機関の担当者に出席いただくことで、研修会の中で持ち上がった地域の諸問題がその場で解決するということが、大変効果的です。

この研修会では団体事務局や青パト実施者から地域の情報や落書き除去、道路や公園の清掃などの



環境の整備の大切さについて呼びかけ、関係機関から県内や地域の交通事故情報、あるいは町別犯罪発生情報等、児童の問題点についてそれぞれの立場から情報を発信していただきます。ここで得た情報を共有し、それぞれの地域に持ち帰り、地区の隅々まで浸透させるわけです。

これまでの活動の経験から、不況の波が訪れるたびに犯罪は多く発生し、青少年の不良行為等は、むしろ好況時に多いと肌で感じます。何よりも必要なのは人の目で

あり、できるだけ大勢の温かな見守り活動が必要かと思えます。基本的な心構えとしては、「気楽に、気長に、無理をしないで行うこと」だと思います。



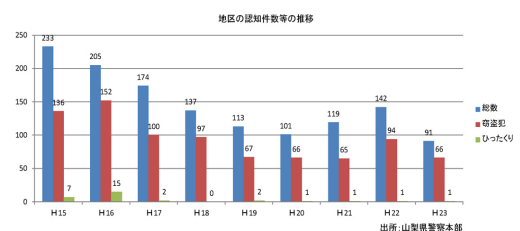
今、画面でご覧いただいているマップは、不審者が出没したところやひったくりの発生現場、あるいは子ども 110 番の家、床屋のチョコキちゃんの家を児童、保護者、事務局、教師、みんなでつくり上げた大切なマップです。

文部科学省の方針により、子どもの安全・安心に関して追い風となるニュースがありました。今後5年以内に防犯、防災、事故防止に関することが、授業のカリキュラムに盛り込まれるということです。大変喜ばしいことだと思います。

活動の効果等

地域の犯罪の情勢を申し上げます。平成 16 年と平成 23 年の地域で発生した刑法犯罪を比べるとは約 56% 減少しています。直前の平成 22 年と平成 23 年を比較すると、約 46% 減少しています。特に、ひったくり等は、平成 16 年中 15 件あったものが、平成 23 年には1件まで抑えることができました。パトロールの効果は歴然であり、青パトが平成 22 年に開始されて1年後、その効果は抜群です。その状況が平成 22 年と平成 23 年を比べた際

地区内の犯罪情勢



- 平成15年から徐々に減少
- 最近の課題として……器物損壊が多発傾向にある。

の約 46%減少につながっています。平成 22 年の認知件数が多いのは、器物損壊です。

石田小安全パトロール協議会の歩み

- 平成15年10月 石田小安全パトロールを発議
安協石田支部女性部
- 平成16年11月 下校時にパトロール出発式 60名
安協石田支部
- 平成17年 5 月 協議会として出発式 233名
- 平成20年10月 文部科学大臣奨励賞を受賞
- 平成21年10月 全国防犯協会連合会長賞
- 平成22年 6 月 メンバー有志による青色回転灯
パトロール運用開始

最後に、石田小安全パトロール協議会の歩みをまとめてご覧いただきます。平成 15 年 10 月、安協石田支部女性部により児童見守り活動の実施が発議されました。平成 16 年 11 月、石田支部他、自治会関係者、県警本部、甲府署、PTA 総勢 60 名が集まり下校時のパトロールの出発式。平成 17 年5月、233 名で石田小安全パトロール推進協議会として発足、出発式を行いました。平成 20 年 10 月、文部科学大臣奨励賞を受賞。平成 21 年 10 月、全国防犯協会連合会会長賞を受賞。平成 22 年6月、メンバー有

志が青色回転灯によるパトロールの運用開始をいたしました。

発足して実際に活動してみて、気がつけば、石田小児童のための見守りのみならず、石田地区全体の見守り活動となっていました。そこで当協議会は自治会連合会を中心に今後活動し、予算を付与し、さらに組織を明確にして拡充を図り、7月8日に石田小児童の見守りを中心に石田地区全域の見守りを併せ持つ「石田安全安心まちづくりの会」として再出発することになりました。以上で、私たち石田小安全パトロール推進協議会の活動発表を終わります。

質疑応答

●質問 協議会では、定期的に団体のリーダー60 名という多くの方が一堂に会して研修会を行っているとのことですが、この研修会には、警察や市役所のほか、学校の校長先生なども参加しておられるとのことです。「こういったことが効果的だった。」というものがあれば、教えてください。

○回答 活動してちょうど8年ほどになります。組織の活動を維持していける大きなポイントは、このリーダー研修会だと思います。リーダー研修会に参加すると、必ず、自分が住んでいる小さな町別の犯罪情報や交通事故の情報などが得られます。この情報を研修会に参加していない住民に伝えることで、地域住民みんなで情報共有ができるという効果につながっています。そういうことで、組織をいつまでも新鮮な状態に保っていけるエンジンの役割だと思っています。